

令和5年第2回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 6月8日(9日・12日)

No.	質問者	質問項目(答弁者)
1	澤野 伸 (会派きずな)	<p><u>1. ふるさと納税を更に充実させるための施策は(市政企画部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>ふるさと納税は、自治体の魅力をアピールし、移住定住促進や地域活性化に繋げるために導入された制度であるが、返礼品によって、寄附金の偏在や、自治体間の競争が起こり得るといった課題もある。本市の取り組みは。</p> <p>質問1 これまでの推移で劇的に寄附額が増えた要因をどのように分析するか。</p> <p>質問2 寄附者の共感を得るような返礼品のメニューづくりは。</p> <p>質問3 寄附金の増加に伴い事務量も格段に増えたが、人員対応は十分か。</p> <p>質問4 ふるさと納税に多くのポータルサイトを利用しているが、検証と見直しは。</p> <p>質問5 納税の更なる向上にむけ、業務を民間に委託する考えは。</p> <p>質問6 企業版ふるさと納税制度のこれまでの経緯と方針は。</p>
2	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 熱中症から命を守るために、エアコン購入費・電気代助成を(市民文化部長、福祉部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>猛暑が予想される夏に、熱中症から命を守るにはどうしてもエアコンが必要だ。エアコン購入・設置費用に対する助成や高騰する電気代への助成について聞く。</p> <p>質問1 エアコン購入・設置費用に助成をする考えはないでしょうか。</p> <p>質問2 市内の全世帯に対しての電気代助成についてはどう考えていますか。</p> <p>質問3 省エネにつながる横浜市のようなエコ家電応援キャンペーンはやりませんか。</p> <p><u>2. 会計年度任用職員とジェンダー平等(市政企画部長、市民文化部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>自治体で働く非正規雇用の大半を占める会計年度任用職員は低賃金で不安定な働き方を余儀なくされている。しかもそのうちの75%は女性が担っている。女性会計年度任用職員の処遇改善を望む。</p> <p>質問1 本市における会計年度任用職員の職種と、女性の割合。年収について。</p> <p>質問2 非正規職員の待遇改善にはどう取り組んでいきますか。</p> <p>質問3 次年度からの男女共同参画プランの内容はどのようになりますか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
3	天羽 良明 (可児未来)	<p><u>1. 今こそ考えよう防災無線の活用を (総務部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>同報系防災無線を利用した火災放送を中止してから5年が経過した。命を守るため、火災等緊急事態の発生を多くの住民に伝えることが重要と考える。メールを確認してもらうためにもサイレンを活用してはどうか。</p> <p>質問1 緊急メール登録者を全人口の何割まで増やすべきと考えるか。</p> <p>質問2 本市では、サイレンの有効性をどのように考えているか。</p> <p>質問3 地域を選択してピンポイントで防災無線からサイレンを流せるか。</p> <p>質問4 多世代が支えあう防災訓練のため中学生の協力は有効だと考える。現状と課題は。</p>
4	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. マイナ保険証の導入で現場はどうなるか (福祉部長、教育委員会事務局長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>デジタルDXで行政事務を一元化する為、国はマイナ保険証をテコに、国保保険証の廃止を強要する方針だ。医療介護等の現場に混乱を持ち込むものだ。市民の命、健康を守る国保医療制度を守る対策を求む。</p> <p>質問1 市内・病院診療所、薬局で、マイナ保険証の利用と普及状況は如何か。</p> <p>質問2 医療・介護・福祉の現場に影響する「国保保険証」の廃止は、マイナ保険証普及の後にするなど、経過措置を取ることが可能か。</p> <p>質問3 本市では国保保険証等の扱いは、慎重に取扱い医療受診の確保に努めてきた。資格証明書、短期保険証が消滅する場合の対応方針は如何か。修学旅行時などのマイナ保険証と児童・生徒にかかる「資格確認書」の取扱いはどうか。</p> <p>質問4 外国籍市民で国保被保険者の市民には、マイナ保険証利用にあたっての課題は独自に何かあるか。</p>
5	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 性の多様性を認める社会の実現に向けて (市民文化部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>2年前の定例会で「パートナーシップ制度導入」について質問。その後、岐阜県下で2市がパートナーシップ制度を導入。岐阜県の制度導入への現状及び本市の性の多様性を認める社会の実現に向けた取り組みを問う。</p> <p>質問1 性の多様性を認める社会に向けた市民への啓発について。</p> <p>質問2 多目的トイレに「みんなのトイレステッカー」の表示を。</p> <p>質問3 岐阜県のパートナーシップ制度導入への動き。</p> <p>質問4 今年度に期限を迎える指針等の進捗状況。</p>

No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
6	高木 将延 (会派きずな)	<p><u>1. 新型コロナウイルス感染状況の発信について (こども健康部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、感染者数は定点把握となった。夏に向け各種イベントの開催が予定されているが、開催決定の目安となる様な市内感染状況の発信はないか。</p> <p>質問1 新型コロナウイルス感染状況の発信はどうしていくのか。</p> <p><u>2. 子どもたちの体験格差の現状と対策について (市民文化部長、こども健康部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>物価が高騰する中、子どもたちの体験に係る負担も大きく、続けてきた習い事をあきらめざるを得ないケースもあり、家庭の経済事情による体験機会の格差が生じている。本市における現状と対策を問う。</p> <p>質問1 本市において体験格差の現状は。</p> <p>質問2 部活動の地域クラブ移行により体験格差は生じないか。</p> <p>質問3 子どもたちが継続的に体験できるような支援策は。</p> <p>質問4 物価高騰の中、子どもたちの体験に係る支援はあるか。</p>
7	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 投票支援カードについて (選挙管理委員会書記長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>知的障がいがある人に投票支援カードやコミュニケーションボードを導入し投票支援をしてはどうか。また、投票支援の動画を作成し、市ホームページに公開してはどうか。本市の見解を伺う。</p> <p>質問1 投票支援カードやコミュニケーションボードの導入を。</p> <p>質問2 知的障がい者への投票支援に関する職員研修の取り組みについて。</p> <p>質問3 代理投票での意思確認はどのように行うのか。</p> <p>質問4 投票支援の動画を作成し、市ホームページで公開するなど周知してはどうか。</p> <p>質問5 期日前投票宣誓書について。</p> <p><u>2. 高齢運転者の安全運転支援について (総務部長、建設部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>高齢者の事故防止のため、自家用車に後付けで運転支援装置を購入時に、補助金を支給する制度創設に対する本市の見解および運転免許証返納者に対する移動手段の充実について見解を求める。</p> <p>質問1 後付けの運転支援装置購入補助金の創設について。</p> <p>質問2 運転免許返納者に対する移動支援の充実について。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
8	奥村 新五 （保守の会）	<p>1. 災害時の為にトイレレーラーの導入を（総務部長）</p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>自然災害が多発する近年、災害時におけるトイレ問題は大変重要である。 「緊急防災・減災事業債」が利用できるトイレレーラーの導入を検討しては如何か。</p> <p>質問1 災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」について可児市としてどこまで把握して見えますか。</p> <p>質問2 今後トイレレーラーの導入を考えますか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。